

## 県産材製品の利用に関する協定書

工務店グループ等（以下「甲」という。）と、木材加工業者（以下「乙」という。）は、県産材による製品（以下「県産材製品」という。）の利用に関し、次のとおり協定を締結する。

### （目的）

第1条 甲及び乙は、県産材製品の安定需給に連携して取り組み、その利用拡大を図るものとする。

### （甲の責務）

第2条 甲は、建築する住宅の部材について、乙が供給する県産材製品を採用するよう努めること。

- 2 甲は、建築する住宅について、県産材製品利用計画書（協定要領 様式第1号 附表のとおり（以下「計画」という。））に基づき県産材製品の需要拡大に努めるものとする。

### （乙の責務）

第3条 乙は、甲が利用する県産材製品の取引価格を不当に値上げしないこと。

- 2 乙は、県産材製品利用計画に基づき県産材原木の安定調達を図るとともに、県産材製品の安定供給に努めるものとする。

- 3 乙は、県産材製品の生産コスト縮減に努めるものとする。

### （取引条件）

第4条 甲と乙との間における県産材製品の取引価格、製品の仕様、納期等の具体的取引条件は、別途定めるものとする。

### （協定期間）

第5条 この協定の有効期間は、協定締結日から令和6年3月31日までとする。

### （解約）

第6条 甲又は乙は、この協定の内容を適切に履行していない場合は、相手方に速やかに通知し、適切な履行を促さなければならない。

- 2 前項の通知によってもなおこの協定の内容が適切に履行されない場合は、甲及び乙が協議して、この協定を解約することができる。

### （その他）

第7条 この協定について、疑義の生じた事項及び協定に定めのない事項については、甲及び乙が協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ署名の上、各自その1通を保有するものとする。

年 月 日

甲 秋田市山王●丁目●-●  
●●●●●の会  
代表 ⑩

乙 秋田市中通○丁目○-○  
(株)○○○製材所  
代表取締役 ○○ ○○ ⑩

## 県産材製品の利用に関する協定書

工務店グループ等（以下「甲」という。）と、木材加工業者（以下「乙」という。）及び〇〇〇〇株式会社（以下「丙」という。）は、県産材による製品（以下「県産材製品」という。）の利用に関し、次のとおり協定を締結する。

### （目的）

第1条 甲、乙及び丙は、県産材製品の安定需給に連携して取り組み、その利用拡大を図るものとする。

### （甲の責務）

第2条 甲は、建築する住宅の部材について、乙及び丙が供給する県産材製品を採用するよう努めること。

- 2 甲は、建築する住宅について、県産材製品利用計画書（協定要領 様式第1号 附表のとおり（以下「計画」という。））に基づき県産材製品の需要拡大に努めるものとする。

### （乙及び丙の責務）

第3条 乙及び丙は、甲が利用する県産材製品の取引価格を不当に値上げしないこと。

- 2 乙及び丙は、県産材製品利用計画に基づき県産材原木の安定調達を図るとともに産材製品の安定供給に努めるものとする。
- 3 乙及び丙は、県産材製品の生産コスト縮減に努めるものとする。

### （取引条件）

第4条 甲と乙及び丙との間における県産材製品の取引価格、製品の仕様、納期等の具体的取引条件は、別途定めるものとする。

### （協定期間）

第5条 この協定の有効期間は、協定締結日から令和6年3月31日までとする。

### （解約）

第6条 甲、乙又は丙は、この協定の内容を適切に履行していない場合は、相手方に速やかに通知し、適切な履行を促さなければならない。

- 2 前項の通知によってもなおこの協定の内容が適切に履行されない場合は、甲、乙及び丙が協議して、この協定を解約することができる。

(その他)

第7条 この協定について、疑義の生じた事項及び協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙が協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲乙丙それぞれ署名の上、各自その1通を保有するものとする。

年 月 日

甲	秋田市山王●丁目●-● ●●●●●の会 代表	印
乙	秋田市中通○丁目○-○ (株)○○○製材所 代表取締役 ○○ ○○	印
丙	秋田市仁井田△△丁目△-△ (株)△△△プレカット 代表取締役 △△ △△	印

# 県産材製品利用計画

## 1 住宅建築の計画

(単位：戸)

区分	実績	計画					
	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	合計
全新築戸数(a)	25	25	25	25	25	25	125
県産材新築住宅戸数(b)	20	21	22	23	24	25	115
県産材利用住宅率(b/a)	80%	84%	88%	92%	96%	100%	92%

## 2 住宅での県産材製品利用計画

(単位：m<sup>3</sup>)

区分		実績	計画					
部材等	内容	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	合計
構造材	桁(スギ集成材)	84	88.2	92.4	96.6	100.8	105	483
"	管柱(スギ集成材)	40	42	44	46	48	50	230
"	母屋(スギ集成材)	30	31.5	33	34.5	36	37.5	173
"	筋違(スギ集成材)	2	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	12
"	間柱(スギKD材)	26	27.3	28.6	29.9	31.2	32.5	150
"	根太(スギKD材)	24	25.2	26.4	27.6	28.8	30	138
小計		206	216.3	226.6	236.9	247.2	257.5	1,185
下地材	野地板(スギ・カラマツ合板)	32	33.6	35.2	36.8	38.4	40	184
小計		32	33.6	35.2	36.8	38.4	40	184
内装材	床材(国産広葉樹)	10	10.5	11	11.5	12	12.5	58
"	天井板(合板)	12	12.6	13.2	13.8	14.4	15	69
小計		22	23.1	24.2	25.3	26.4	27.5	127
その他	ウッドデッキ	10	10.5	11	11.5	12	12.5	58
"	木塀	20	21	22	23	24	25	115
小計		30	31.5	33	34.5	36	37.5	173
合計		290	304.5	319	333.5	348	362.5	1,668

## 3 協定期間内(5カ年)の県産材製品の利用量の平均

構造材	236.90 m <sup>3</sup>
下地材	36.80 m <sup>3</sup>
内装材	25.30 m <sup>3</sup>
その他	34.50 m <sup>3</sup>

秋田市山王●丁目●-●  
(株)●●●工務店  
代表取締役 ●● ●● 様

秋田市八橋○丁目○-○  
(有)○○○工務店  
代表取締役 ○○ ○○ 印

## グループ加入申込書

ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業の対象事業者となりたいので、貴グループへの加入を申し込みます。

- グループに加入したい理由  
秋田スギ等の県産木材製品を利用した住宅の建築に積極的に取り組みたいため。
- 県産材等の利用のために取り組む事項  
これまでは主に内装部分に利用してきたが、今後は構造(○○、○○)部分への利用にも取り組んでいく。
- 添付資料
  - 県産材製品利用計画書(様式第2号-1)
  - 建設業法、建築士法等の許可を受けていることが確認できる書類

# 県産材製品利用計画書

工務店等名称

〇〇〇工務店

## 1 住宅建築の実績状況

(単位：戸)

区分	建築実績			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
全新築戸数(a)	3	3	3	3
県産材新築住宅戸数(b)	1	2	3	2
県産材利用住宅率(b/a)	33%	67%	100%	67%
ポイント事業実施件数	1	2	3	2

## 2 住宅建築の5カ年計画

(単位：戸)

区分	計 画					
	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	合 計
全新築戸数(a)	3	3	4	4	5	19
県産材新築住宅戸数(b)	3	3	4	4	5	19
県産材利用住宅率(b/a)	100%	100%	100%	100%	100%	100%

## 3 住宅での県産材製品利用計画

(単位：m<sup>3</sup>)

区分		実績 平成30年度	計 画					合 計
部材等	内容		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
構造材	桁(スギ集成材)	0	12.6	12.6	16.8	16.8	21	80
"	管柱(スギ集成材)	0	6	6	8	8	10	38
"	母屋(スギ集成材)	0	4.5	4.5	6	6	7.5	29
"	筋違(スギ集成材)	0	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	2
"	間柱(スギKD材)	3.9	3.9	3.9	5.2	5.2	6.5	25
"	根太(スギKD材)	0	3.6	3.6	4.8	4.8	6	23
小計		3.9	30.9	30.9	41.2	41.2	51.5	196
下地材	野地板(スギ・カラマツ合板)	4.8	4.8	4.8	6.4	6.4	8	30
"								0
小計		4.8	4.8	4.8	6.4	6.4	8	30
内装材	床材(国産広葉樹)	1.5	1.5	1.5	2	2	2.5	10
"	天井板(合板)	1.8	1.8	1.8	2.4	2.4	3	11
"								0
"								0
小計		3.3	3.3	3.3	4.4	4.4	5.5	21
その他	ウッドデッキ	1.5	1.5	1.5	2	2	2.5	10
"	木塀	0	3	3	4	4	5	19
"								0
"								0
小計		1.5	4.5	4.5	6	6	7.5	29
合 計		13.5	43.5	43.5	58	58	72.5	276

## 4 協定期間内(5カ年)の県産材製品の利用量の平均

構造材	39.14 m <sup>3</sup>
下地材	6.08 m <sup>3</sup>
内装材	4.18 m <sup>3</sup>
その他	5.70 m <sup>3</sup>

様式第3号(第4関係)

年 月 日

秋田市八橋〇丁目〇-〇  
(有)〇〇〇工務店  
代表取締役 〇〇 〇〇 様

秋田市山王●丁目●-●  
(株)●●●工務店  
代表取締役 ●● ●● ●● 印

## グループ加入許可書

令和元年〇月〇日付けで提出された、グループ参加申込書の内容を精査したところ、  
適当と認められますので、当グループへの加入を許可します。



秋田県知事

秋田市山王●丁目●-●  
(株)●●●工務店  
代表取締役 ●● ●● (印)

## 県産材の利用に関する協定締結申込書

秋田県と県産材の利用に関する協定を締結したいので、県産材の利用に関する協定締結要領第4に基づき、次のとおり申し込みます。

- 1 協定を締結したい理由  
グループ化のメリットを活かし、秋田スギ等の県産木材製品を利用した住宅の建築に積極的に取り組みたいため。
- 2 県産材の利用のために取り組む事項  
情報の共有や技術の交換、計画かつ安定的な部材の調達に取り組み、グループ全体として県産材利用率の向上を図っていく。  
また、広くPR活動にも取り組み、県産材を利用した住宅の普及を図っていく。
- 3 添付資料
  - ① ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業計画書  
(様式第4号-1-I~V)
  - ② 県産材の安定需給に関する協定の写し(様式第1号)
  - ③ グループ加入申込書及び許可書の写し(様式第2号、3号)
  - ④ 工務店グループ等の業務内容が分かる資料(パンフレット等)

# ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業計画書

(協定期間：令和元年～5年度の5カ年)

本計画書の内容について、ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業に係る協定の締結を申請します。

この計画書及び添付資料に記載された事項は、事実と相違ありません。

グループ等の名称

〇〇〇〇〇の会

(グループの代表者)

代表者名	〇〇 〇〇	㊞
代表者所属先	(株)〇〇〇工務店	
代表者所在地	秋田市山王〇丁目〇-〇	
代表者電話番号	018-860-0000	

(グループの事務局)

事務局事業者名	(株)□□□建築事務所	
事務局担当者名	□□ □□	㊞
事務局郵便番号	010-0000	
事務局所在地	秋田市御所野□丁目□-□	
事務局電話番号	018-000-000	
事務局FAX	018-000-000	
事務局担当者E-mail	□□□@□□□.com	

## 1 事業を実施しようとする者の概要

【様式第4号-1-I】

1 グループ等について			
1. グループ等の名称	〇〇〇〇〇の会		
2. 代表者名	〇〇 〇〇		
3. 代表者所属先	(株)〇〇〇工務店		
4. 代表者所在地	秋田市山王〇丁目〇-〇		
5. 代表者電話番号	018-860-0000		
2 グループ等の事務局			
6. 事務局事業者名	(株)□□□建築事務所		
7. 事務局担当者名	□□ □□		
8. 事務局郵便番号	010-0000		
9. 事務局所在地	秋田市御所野□丁目□-□		
10. 事務局電話番号	018-000-000		
11. 事務局FAX	018-000-000		
12. 事務局担当者E-mail	□□□@□□□.com		
3 グループ等の住宅建設の概要について			
13. グループ等構成員数	7 社		【様式第4号-1-II】
14. 元請の新築住宅戸数			
○ 過去3カ年平均	23	戸	【様式第4号-1-III】
○ 平成30年度	24	戸	〃
15. 県産材住宅の建築計画			
○ 令和元年度	25	戸	【様式第4号-1-III】
○ 令和2年度	25	戸	〃
○ 令和3年度	25	戸	〃
○ 令和4年度	25	戸	〃
○ 令和5年度	25	戸	〃
計	125	戸	
4 グループ等での県産材利用について			
16. 住宅での県産材利用			
○ 現在の構造材等での県産材利用率	45	%	【様式第4号-1-III】
○ 将来の構造材等での県産材利用率	70	%	〃
17. 秋田らしい「木づかい」の提案	グループ等で取り組む項目（基準等）		
① 和室等の提案	和室、畳スペースの設置		【様式第4号-1-VI】
② 外構での利用の提案	ウッドデッキ、フェンスの設置		〃
③ 内装での利用の提案	フローリング、腰板等の設置		〃
④			〃
⑤			〃
⑥			〃
⑦			〃
5 協定締結木材加工業の概要について			
18. 協定締結木材加工業数	3 社		【様式第4号-1-IV】
19. 県産材製品の利用計画	(5カ年平均)		
○ 構造材	179.40	m <sup>3</sup>	【様式第4号-1-V】
○ 下地材	94.40	m <sup>3</sup>	〃
○ 内装材	25.40	m <sup>3</sup>	〃
○ その他	38.60	m <sup>3</sup>	〃
計	337.80	m <sup>3</sup>	〃
6 その他（特記事項）			

2 グループ等構成員名簿

【様式第4号-1-II】

番号	事業者名	代表者職氏名	郵便番号	所在地	電話番号
1	(株)□□□建築事務所	代表取締役 □□ □□	000-0000	秋田市□□□	018-000-0000
2	(有)○○○工務所	代表取締役 ○○ ○○	000-0000	秋田市○○○	018-000-0000
3	(株)△△△建設	代表取締役 △△ △△	000-0001	秋田市△△△	018-000-0001
4	(株)◇◇◇建築	代表取締役 ◇◇ ◇◇	000-0002	秋田市◇◇◇	018-000-0002
5	(有)■ ■ ■ 工業	秋田支店長 ■ ■ ■ ■	000-0003	秋田市■ ■ ■	018-000-0003
6	(株)▲▲▲組	代表取締役 ▲▲ ▲▲	000-0004	秋田市▲▲▲	018-000-0004
7	(有)◆◆◆工務店	秋田支店長 ◆◆ ◆◆	000-0005	秋田市◆◆◆	018-000-0005
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
計	7 社				

3 グループ等構成員の概要

【様式第4号-1-Ⅲ】

番号	事業者名	木造住宅建築の現況			住宅での県産材利用					備考		
		元請けの新築住宅戸数		平成30年度 ポイント事業 の活用実績	現在の構 造材等 での県産材 利用率	将来の構 造材等 での県産材 利用率	県産材住宅計画 (令和元～5年度)					
		過去3カ年 平均	平成30年度				元	2	3		4	5
1	(株)□□□建築事務所	3 戸	3 戸	3 戸	60 %	70 %	3	3	3	3	3	
2	(有)○○○工務所	3 戸	3 戸	3 戸	40 %	70 %	3	3	3	3	3	
3	(株)△△△建設	4 戸	4 戸	4 戸	55 %	70 %	5	5	5	5	5	
4	(株)◇◇◇建築	3 戸	4 戸	4 戸	50 %	70 %	4	4	4	4	4	
5	(有)■ ■ ■ 工業	5 戸	5 戸	5 戸	50 %	70 %	5	5	5	5	5	
6	(株)▲▲▲組	3 戸	3 戸	3 戸	30 %	70 %	3	3	3	3	3	
7	(有)◆◆◆工務店	2 戸	2 戸	2 戸	30 %	70 %	2	2	2	2	2	
8		戸	戸	戸	%	%						
9		戸	戸	戸	%	%						
10		戸	戸	戸	%	%						
11		戸	戸	戸	%	%						
12		戸	戸	戸	%	%						
13		戸	戸	戸	%	%						
14		戸	戸	戸	%	%						
15		戸	戸	戸	%	%						
16		戸	戸	戸	%	%						
17		戸	戸	戸	%	%						
18		戸	戸	戸	%	%						
19		戸	戸	戸	%	%						
20		戸	戸	戸	%	%						
21		戸	戸	戸	%	%						
22		戸	戸	戸	%	%						
23		戸	戸	戸	%	%						
24		戸	戸	戸	%	%						
25		戸	戸	戸	%	%						
26		戸	戸	戸	%	%						
27		戸	戸	戸	%	%						
28		戸	戸	戸	%	%						
29		戸	戸	戸	%	%						
30		戸	戸	戸	%	%						
		戸	戸	戸	%	%						
		戸	戸	戸	%	%						
		戸	戸	戸	%	%						
		戸	戸	戸	%	%						
		戸	戸	戸	%	%						
		戸	戸	戸	%	%						
		戸	戸	戸	%	%						
計	7 社	23 戸	24 戸	24 戸	45 %	70 %	25	25	25	25	25	

※黄色のセルに入力してください。（青のセルにはリンクや計算式が入っているので入力しないでください）



5 協定締結木材加工業の概要

【様式第4号-1-V】

番号	木材加工企業名	協定の締結状況		県産材製品の利用計画（協定書附表 5カ年平均）			
		協定の有無	協定締結年月日	構造材 (m3)	下地材 (m3)	内装材 (m3)	その他 (m3)
1	(有)〇〇製材所	有	R元. 6. 10	179. 40			
2	□□□製材(株)	有	R元. 6. 17		94. 40		
3	△△△木材(株)△支店	有	R元. 6. 20			25. 40	
4	◇◇◇材木店	無					38. 60
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
計	0 社	4		179. 40	94. 40	25. 40	38. 60

グループ等の名称		〇〇〇〇〇の会				
□ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業への取り組み						
県産材製品の利用に関するグループ等の取り組み					記載内容 チェック	
① 県産材製品の利用に関する共通ルール	例) グループで共通した規格の部材を定め、カタログ等を作成し活用する。 例) グループ内で在庫量や価格の情報を共有する。 例) 主要構造材（柱・梁・桁）以外にも乾燥秋田スギ認証製品を使用する。 例) 柱材に120mm角以上の乾燥秋田スギ認証製品を使用する。					
② 県産材製品の使用割合	現況	45 %				
	目標	70 %				
③ 標準的な県産材製品の使用部位	使用部位等の区分		使用の有無		認証材等	
					合法木材証明制度 JAS材 乾燥秋田スギ認証材 その他認証材 認証なし	
	主要構造材	土台	<input type="checkbox"/> 使用している	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない		
		柱	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	<input type="checkbox"/> 使用していない	○	
		梁・桁等の横架材	<input type="checkbox"/> 使用している	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない		
	下地材	<input type="checkbox"/> 使用している	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない			
	内装材	<input type="checkbox"/> 使用している	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない			
その他	<input type="checkbox"/> 使用している	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない				
④ 秋田らしい「木づかい」の提案	取組事項		グループ等で取り組む項目（基準等）			
	① 和室等の提案		和室、畳スペースの設置			
	② 外構での利用の提案		ウッドデッキ、フェンスの設置			
	③ 内装での利用の提案		フローリング、腰板等の設置			
	④					
	⑤					
	⑥					
⑤ 県産材製品の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	<p>県産材製品の利用に関する協定</p> <p>※合法木材</p> <p>※認証材等</p> <p>※施工会社が設計</p>					
⑥ 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない		内容:		
⑦ 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない		内容:		
⑧ 用材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない		内容:		
⑨ 県産材製品の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない		内容:		



□秋田らしい「木づかい」具体的な取組

①		②	
取組の内容	<p>【和室等の提案】</p> <p>和室の設置</p>  <p>畳スペースの設置</p> 	取組の内容	<p>【外構への利用】</p> <p>ウッドデッキの設置</p>  <p>木製フェンスの設置</p> 
③		④	
取組の内容	<p>【内装材への利用】</p> <p>床材</p>  <p>腰板</p> 	取組の内容	
⑤		⑥	
取組の内容		取組の内容	
⑦		⑧	
取組の内容		取組の内容	

## □県産材製品を活用した木造住宅のPRの取り組み

現在のPR活動（現在、行っている施主等への県産材を使用した住宅のPR活動等の事例を記載）

- ・ 施主様に対して、ウッドファースト木材利用ポイント事業（構造材・下地材、内装材へ利用した場合に、県産品や助成金をもらえること）を説明し、県産材製品への利用を図った。
- ・ 完成内覧会において、地元の秋田スギを利用していることを積極的にアピールした。

今後のグループ等が行うPR活動の計画（県産材を使用した住宅のPR活動等の構想を記載）

- ・ グループに加入している工務店が行う見学会や内覧会においては、地域の工務店が連携して秋田県産材の利用に取り組んでいることが伝わるような内容とする。  
（のぼり旗を作成する等、県産材利用とグループ名が目立つようなグッズを作製する。）
- ・ これまで各工務店では費用をかけにくかった宣伝広告について、チラシ作成や雑誌等への掲載など、助成金をフルに活用して積極的に取り組む。

秋田県知事

工務店グループ等の名称 ○○○○○の会  
 グループ代表者 (株)○○○工務店  
 職氏名 代表取締役 ○○ ○○ (印)

### 県産材製品の利用に関する状況報告書

県産材製品の利用に関する協定締結要領第7に基づき、年度の県産材製品の利用の取り組み状況について、次のとおり報告します。

#### 1 取り組み状況

(単位：m<sup>3</sup>、戸、%)

区分		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	計
構造材	計画	163.8	171.6	179.4	187.2	195.0	897.0
	実績	180.0					180.0
下地材	計画	86.1	90.2	94.3	98.4	102.5	471.5
	実績	90.0					90.0
内装材	計画	23.1	24.2	25.3	26.4	27.5	126.5
	実績	20.0					20.0
その他	計画	31.5	33.0	34.5	36.0	37.5	172.5
	実績	10.0					10.0
計	計画	304.5	319.0	333.5	348.0	362.5	1,667.5
	実績	300.0	0.0	0.0	0.0	0.0	300.0
全新築戸数 (A)	計画	25	25	25	25	25	125
	実績	25					25
県産材新築戸数 (B)	計画	21	22	23	24	25	115
	実績	20					20
県産材利用住宅 率 (B/A)	計画	84%	88%	92%	96%	100%	92%
	実績	80%					80%

#### 2 実績が計画を下回った場合、その理由

建築住宅戸数は25戸に対して25戸の計画どおりであったが、県産材利用率60%を満たす住宅戸数が21戸に対して20戸と1戸下回った。  
 このため、県産材利用量についても304.5m<sup>3</sup>の計画に対し、300.0m<sup>3</sup>とわずかに下回った。